

いざという時のために…事前に準備しておきたい

災害時持ち出し品リスト

- | | | |
|-----|---|----------------------------------|
| 食料 | <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 非常食 |
| | <input type="checkbox"/> 現金 (釣り銭切れを想定し小銭まで準備) | |
| 貴重品 | <input type="checkbox"/> 銀行の口座番号の写し | <input type="checkbox"/> 車や家の予備鍵 |
| | <input type="checkbox"/> 健康保険証・免許証など | <input type="checkbox"/> 印鑑 |
| 情報 | <input type="checkbox"/> 携帯電話、ラジオ (充電器・電池含む) | |
| | <input type="checkbox"/> 緊急連絡先 | <input type="checkbox"/> 筆記用具 |
| 便利品 | <input type="checkbox"/> 笛やブザー | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| | <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> 雨具 |
| | <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬 | <input type="checkbox"/> タオル・着替え |

- 成人男性は約15kg、女性約10kg 荷物重量の目安です。
- リストは一部です。状況に応じて品物を追加してください。

水害時は運動靴で避難を

水害時には長靴が適切に思えますが、水が入ると重くなり動きにくくなります。動きやすい靴を準備しましょう。

思い出の品の持ち出し

大切なものは1つの場所にまとめておくと持ち出せる可能性が上がります。また写真はUSBメモリーやSDカードなどにデータで記録しておくことと持ち出しが容易になります。



↑元消防士の経歴を生かし、消防署と連携し町内で防災の講習会を実施。



福智町役場 消防防災係

永末 聖峰さん Disaster Prevention Adviser

講習会を行う際は「自助」の大切さを伝えています。どのような災害においても備えはできます。救助を待つ間に身を守るのは自分。正しい知識を持って有事に備えてほしいと思います。

3 事前の災害対策

日常から災害を想定し正しい知識で対策を。

避難行動の際には、冷静な判断をすることが難しくなります。その時になって準備を始めたのでは、すぐに荷物をまとめることは難しく、避難の遅れにもつながってしまいます。正しい知識を持ち、事前の準備を行うことで安全を確保できます。

知



↑方城地区の土砂崩れ。大雨時は土砂災害にも警戒を。大

避難勧告・避難指示(緊急)時の避難所

避難勧告や避難指示(緊急)が出た場合、一時的に居住する施設。

- 金田体育センター
- 中央保育所
- 金田中学校
- 伊方小学校
- ふれあい塾
- 方城中学校
- 弁城小学校
- やすらぎ館
- ふれあい館
- 大浦隣保館
- 方城保健センター
- 上野小学校
- 方城体育館
- 市場小学校
- 赤池中学校

自主避難所

災害発生の恐れがあり自主避難する場合、一時的に居住する施設。

- 福智町役場
- 中央公民館
- 公民館方城分館

災害時には各避難所へ。地域ごとの指定はされておらず、どの場所へも避難することができます。経路の安全を確認し、危険の少ない避難所へ向かってください。詳しい内容や危険箇所は全戸配布しているハザードマップで確認できます。

1 避難所の確認

身を守るには、まず逃げる。避難所をご確認ください。

生命を守る備え

特集 「まさか」の時はやってくる。 03

最優先は命を守る。身を守るのは日常の備え。他人事にしない意識が重要です。

豪

雨の際、第一に命を脅かすのが土砂災害。今回の豪雨でも、避難途中に土砂崩れに遭い、命を落とすという事例が県内で発生しました。また、今回の教訓として、ダム決壊を防ぐ放水も警戒が必要です。山の斜面に隣接する土地、川の付近の低地、水が集まりやすい地形など、被害を受けやすい場所はあらかじめ予測できます。今回の豪雨ではハザードマップで最も危険とされていた範囲を超えて浸水被害が多発しました。何かあってからでは間に合いません。危険予想範囲に住んでいる人はもちろん、その周辺であっても注意を怠らず、危険を想定しておきましょう。

2 警戒

災害時における3段階の警報。危険のレベルに応じた判断を。

町が発信する情報は3段階に分かれています。各情報に応じ適切な対応や備えをしてください。警報が発令されていない場合でも、危険を感じた時はすぐに身を守る準備に移ることが重要。早めの判断、素早い行動が命を守ることに繋がります。

緊急性



- 避難準備・高齢者等避難開始** (低) 災害が起きる可能性がある場合に、避難準備を呼びかけます。障害者や傷病者、妊婦、乳幼児・子どもなど特に避難行動に時間を要する人は避難を開始してください。
- 避難勧告** (中) 災害が起きる危険が高まったときに町長が発令する勧告。すぐ近くまで危険が迫っていることが多いため、すぐに避難準備を整え、避難行動を開始してください。
- 避難指示(緊急)** (高) 危険が切迫しているため、迅速に避難行動を開始してください。また避難が遅れた場合は、気象情報や外の状況を確認し、必要に応じて救助要請をしてください。

4 つながる人の輪

まさかの時に大切なつながり。支援から生まれる助け合い。

東 日本大震災で大きな被害を受け、浸水地域が市街地の65%に達した東松島市。義援金や職員派遣などの支援が縁となり、渥美巖市長が福智町を訪問し感謝を伝えました。支援の思いは人と人をつなぎ、協力の輪を広げていきます。

西日本豪雨 義援金箱設置場所

- 福智町役場本庁
- 福智町役場方城支所
- 福智町役場赤池支所
- 公民館金田分館
- 公民館方城分館
- 方城診療所
- コスモス診療所
- ふくちのち



地震・火災・落雷などふりかかる災害を完全に防ぐすべはありません。しかし備えることで、身に被害や危険が及ぶ可能性を少しでも減らすことができます。どのような災害であっても「備えすぎる」ことは決してありません。少しでも危険を感じたときの早めの避難、早めの行動が生死を分けまます。かけがえのない命、自分自身を守る「死なない」ための備えを心がけてください。



↑固い握手を交わし、変わらない支援の意を伝えた嶋野町長。

宮城県 東松島市 渥美 巖 市長 Iwao Atsumi

全国の支援で復興は着実に進んでいます。やはり第一は備えです。津波被害は甚大でしたが耐震化に力を入れていたため、地震被害はほぼありませんでした。今後も市民のための環境整備を進めていきます。

